



第2820地区

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2009~2010

# 下館ロータリークラブ会報



2009年10月21日 2152号 (2009.10/14例会報告)



石菖 (つわぶき)

- 会長 奥沢 裕二 幹事 諏訪哲也
- 例会場 ダイヤモンドホール  
筑西市玉戸1053-4 TEL 0296-28-8511 FAX 0296-28-8533  
※欠席の場合は午前10時までに連絡願います。  
(食事の無駄を発生させない)
- 例会日時 水曜日 12:30~13:30
- ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp/>
- クラブ会報委員会 委員長 小島ゆり  
委員 正根寺幸雄・堀江清彦

## 10月21日のプログラム

プログラム委員会 渡辺進 委員長

1. 点鐘・開会
2. ロータリーソング
3. お客様紹介
4. 会長挨拶 (奥沢会長)
5. 食事
6. 委員会報告
7. スマイルBOX報告
8. 卓話 第2550地区ガバナーエレクト 瀬下 龍夫様 (壬生RC) テーマ: 「職業奉仕について」
9. 点鐘・閉会

## 出席報告

出席委員会 石島仁司 委員

例会日	会員数	出席	欠席	病欠	免除
10月14日	51	41	8	2	5

## 会長挨拶 奥沢裕二 会長

ジョン・ケニーRI会長より下館ロータリークラブ50周年の証とお祝いメッセージが届いております。先日のアートフェスティバルにご参加と、実行委員会、社会奉仕委員会のみなさんご苦勞様でした。今週は、ハローワールドが太田小学校と川島小学校で新世代奉仕委員会のプログラムが開催されます。ご参加ください。本日、卓話をしてくださる荒木龍彦様ですが、赴任間もなく大変お忙しい中お話を頂くことは誠に申し訳なく、またありがとうございます。東京保護観察所所長であられ、社会生活更生浄化の大任にあたられておられます。卓話を楽しみにしています。宜しくお願い致します。

## お客様紹介

水戸保護観察所所長 荒木龍彦 様

## 幹事報告 諏訪哲也 幹事

1. 社会福祉法人 茨城県共同募金会筑西支部より街頭募金の協力及びお礼並びに集計結果報告が届きました。  
2009.10.1 (木) 実施  
下館駅前 40,227円  
玉戸駅前 8,698円  
川島駅前 24,838円  
新治駅前 6,822円  
黒子駅前 3,409円  
大田郷駅前 1,480円  
合計 85,474円
2. 竜ヶ崎RCより創立50周年に出席の礼状が届きました。
3. 下館国際交流友の会より「外国人のための日本語教室第34期」の開講式の案内が届きました。
4. ホストクラブ真壁RCより、第83回7RC親善ゴルフ大会の案内が届いています。ゴルフ同好会へ渡しました。
5. 下館マンドリンクラブより第4回定期演奏会(2009.11.22 関城生涯学習センター)の入場券が2枚届きました。
6. ユニセフよりユニセフカードとギフト秋冬号が届きました。
7. ガバナー事務所よりガバナーノミニー確定宣言が届きました。
8. 水戸好文RCより認証伝達式登録の礼状が届いています。
9. 結城RCより会報が届きました。

## スマイルBOX スマイルBOX委員会 須藤義定 委員

- 大林 稔 水戸保護観察所 荒木龍彦所長をお迎えして。下館RC内で4社が「茨城県就労支援事業者機構」に会員登録され、日頃物心両面にわたりご協力いただいております。クラブ内に3名の保護司と会員の奥様が活躍しております。今後とも国の犯罪対策としての更生保護をよろしくお願いたします。
- 司代 隆之 水戸保護観察所所長 荒木龍彦様の卓話楽しみにしております。米山奨学生陳莉さんです。本日はよろしく御指導お願い申し上げます。
- 永井 啓一 荒木龍彦所長卓話楽しみにしております。  
正根寺幸雄・小島ゆり 水戸保護観察所所長 荒木龍彦先生ようこそ。“更生保護”の卓話楽しみです。宜しく願いたします。
- プログラム委員会 渡辺進・井狩浩一・早川誠二  
水戸保護観察所 荒木所長様 本日の卓話よろしく願申し上げます。
- 加藤 昌美 法務省 水戸保護観察所 荒木所長様ようこそおい出下さいました。井狩さん元気でおかえりなさい。
- 井狩 浩一 体調がすぐれず長い間例会を休んでおりました。クラブや大勢の会員の皆様からお見舞等をいただきありがとうございます。まだ本復といきませんが、ご迷惑のかからない様出席させていただきます。有難うございました。
- 白井 信行 井狩先輩の元気な姿拝見し、安心しました。お帰りなさい。
- 瀧田 昌甫 井狩さん元気で帰りにさい。
- 荒川 洋一 井狩さん元気に帰りにさい。
- 関谷 徹 井狩さんの元気な復帰を記念して。
- 小林 一彦 井狩さん元気な姿でロータリーに出席あめでとうございます。今後とも体には充分注意して下さい。
- 奥沢 裕二 井狩さん元気に帰りにさい。
- 永盛 宣也 井狩さんお元気で帰りにさい。
- 日向野 陽 50周年記念お土産、予定の森田茂氏作品を交渉して来ました。姪の柏木かおる様に心よく承諾して頂きました。井狩会員お帰りなさい。
- 永盛武・中里泰久 本日、皆様のメールボックスへ下館マンドリンクラブの定期演奏会のチラシ・入場券を入れさせていただきました。お時間の都合のついた方はどうぞ！お待ちしております。
- 堀江 清彦 休みが続きまして御迷惑をお掛け致しますが、宜しく願致します。
- 諏訪 哲也 第2回日台親善会議(台湾日月潭)へ行ってきました。司菜子さん(東京恵比寿RC)に会場でお会いしました。
- 結婚記念 小嶋 勝五郎

本日(10/14)の合計44,000円 / 累計513,000円

## メイクアップ 出席委員会 根岸隆男 委員長

- ・9月18日 真壁ロータリークラブ(7RC下見) 日向野陽・百目鬼博行
- ・10月1日 50周年実行委員会(森田茂宅訪問) 滝田昌甫・日向野陽
- ・10月3日 龍ヶ崎ロータリークラブ 滝田昌甫・日向野陽
- ・10月9・10日 ライラセミナー 鈴木光則
- ・10月10日 日台親善会議(台湾日月潭) 諏訪哲也
- ・10月10日 下館アートフェスタ(小学生絵画展) 中西悦夫・正根寺幸雄・大林稔・古田貢一・佐藤昭・加藤昌美・奥沢裕二
- ・10月11日 下館アートフェスタ(小学生絵画展) 佐藤昭・荒川洋一・古田貢一・百目鬼博行・川連秀典・正根寺幸雄・中西悦夫

## 卓話

西地区保護司会の会長（茨城県保護司会連合会副会長）をしている大林です。

私たちの保護司会は、4市1町（筑西市・結城市・下妻市・桜川市・八千代町）で構成している西地区保護司会で、保護司数104名と茨城県内で一番大きな組織であります。大林・正根寺・小島（ゆ）が活躍しております。

ここで、本日の卓話者を紹介します。8月発表の10月プログラムでは、清水水戸保護観察所長となっておりましたが、10月1日付けで人事異動があり10月5日に水戸保護観察所に赴任してきましたとのことで私も今日が初顔合わせの水戸保護観察所長 荒木 龍彦 さんです。前任は、・東京保護観察所の次長 その前は、・甲府保護観察所長 その前は、・関東地方更生保護委員会の総務課長等を歴任し、数年前は「法務総合研究所」で教官との勤務歴もあり、海外出張も何回もあって、各地で開催される学会等に引っ張りだこの人気者であるとの 水戸保護観察所 高畑企画調整課長の言です。それでは、荒木 水戸保護観察所長さんよろしくお願ひいたします。

## 犯罪のない明るい社会作りのために

水戸保護観察所長 荒木 龍彦 様

～手を取りあって明るい社会作りを～

ロータリークラブの皆様には、それぞれのご職業を通じての明るい社会づくりと幅広い観点からの社会奉仕に取り組んでおられ、この機会に心からの敬意を表します。

さて、私どもが保護司（県内約900人）など多くの市民の方々とともに進めている更生保護という仕事は、罪を犯した人々に施設に収容するのではなく社会の中で更生していくことを支援する活動です。刑事政策（犯罪対策）の一環として、国が全国に機関（保護観察所）を設置して実施しています。

更生保護の対象となる人たちをみますと、失業や家庭的な不遇、アルコール依存など、一般に社会病理、社会問題と言われる問題が折り重なって訪れたような経過をたどっている場合がほとんどです。そのように考えると、子どもの虐待を防止するとか、学校の運営に協力するとか、薬物乱用問題に取り組むなど、更生保護という仕事においても社会の様々な問題に向かい合うことが大切であり、実際に更生保護のボランティアの人たちは、地域の諸団体と連携して多様な地域活動を熱心に展開しています。

このように裾野の広い更生保護の活動は、接点をもつ団体も地域に数多く、お互いに連絡を取り合っ

て活動を進めていくことこそが大切と考えております。そこで、今般、このような明るい社会作りの活動を地域のもっと多くの団体の皆様と手を取り合っ

て進めるべく、ロータリークラブの皆様とも交流を図りたいと考えております。明るく住みよい社会作りのために、保護観察所、保護司会、更生保護女性会など私たち更生保護の従事者との交流と情報交換、そして活動の連携をお願いいたします。

～更生保護の活動に参加とご支援を～

また、ロータリークラブの会員の皆様が、直接更生保護の活動に参加していただいたり、活動をご支援していただくこともたいへんありがたいことと考えております。

更生を保護するという最も大切なことは、その更生しようとする人が障害なく社会に溶け込んでいける環境を作ることです。それは、家族関係などもそうですが、仕事を得て理解ある雇用主や同僚に囲まれること、困ったことがあった時に一人で思い悩まないで相談する人がいることなど、いろいろな要素があります。

とりわけ就労面で安定することとは、生活の糧を得るという意味のほか、本人を受け入れる上司、同僚など周囲の人間関係の支えを得ることでもあり、多くの人にとって、第一に重要なものとなっています。

現在、法務省におきましては、平成18年6月から厚生労働省と共同で刑務所出所者等就労支援事業を全国で推進しているほか、犯罪前歴を持つ人の立ち直りを、雇用を通じて助けようという事業主（協力雇用主）の方々を探しています。クラブ会員の皆様ご自身で、または、お知り合いの事業所の方で、ご関心をお持ちいただける方がいらっしゃいましたら是非ご連絡をいただきたいと思

います。同時に、協力雇用主の方々を募り、その活動を支援する事業を行う茨城県就労支援事業者機構という団体も、県内主要経済団体の皆様のご支援を得ながら設立準備を進めているところです。事業主の方で、犯罪前歴者の雇用までは無理という場合でも、この団体の会員になっていただき、物心両面から協力雇用主の活動をご支援いただければ幸いです。

さらに、本年9月には、茨城就業支援センターという施設がオープンし、仮釈放者などで農業を身につけて更生したいという人たちに、農業指導プログラムを受けてもらっています。更生保護の新しい動きを見守っていただければ幸いです。

さて、保護観察を受ける青少年にとって大切な環境要素は、同じ世代の仲間です。更生保護では、BBS会という青年ボランティアの人たちが、保護観察中の少年たちに、話し相手になったり、勉強を教えるなどの活動をしています。ロータリークラブでは、ローターアクトのプログラムを通じて若い世代の人たちに社会奉仕の活動への参加を促しているとうかがっています。若い人たちにBBS活動への参加もお勧めいただければと思います。

そのほか、身寄りのない刑務所出所者等を保護して自立まで助ける民間の中間施設（更生保護施設有光苑。定員20人）がひたちなか市にあり、地域のいろいろの団体の支援を得ながら運営しています。また、有志女性のボランティア団体である更生保護女性会（会員1800人）が、子育て援助活動、青少年健全育成活動、地域ミニ集会活動など、地域のニーズに合わせた活動を幅広く行っています。これら諸活動との連携や、活動へのご支援をお願いいたします。

なお、民間の更生保護の活動を支援する団体として、更生保護法人茨城県更生保護協会があり、広く善意の寄付金を集めています。資金的なご支援や寄付者のご紹介をいただければたいへんありがたく存じます。（税控除の対象となる特定公益増進法人です）

更生保護施設や刑務所等の見学を通じまして更生保護へのご理解をいただきたいと思いますとも思っております。更生保護の様々な立場の関係者が、引き続き卓話にお招きいただくことも歓迎いたします。皆様の活動につきましてもできるだけご紹介いただければ幸いです。

明るく住みよい社会づくりのために、ご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

